

ちゃんと かわら版 千歳



アリス認定こども園(藤森紫乃園長)でさきごろ、園児が年中行事「端午の節句」について学習するイベント「端午の節句会」が行われました。

イベントには3歳児以上の園児が参加。クラス別の「こいのぼり制作」発表や、ペープサート(紙人形劇)の鑑賞、「こいのぼりリレー」等を通じて、端午の節句を全身で楽しみました。

ホールに集合した園児は、最初に「こいのぼり制作」の作品発表に参加。各クラスの代表作品を作った園児が先生からインタビュを受け、工夫した点を答えると、会

場に大きな拍手が響きました。

作品発表が終わると、5歳児クラスの山口哲生(てつき)くんが陣羽織を着用して登場(写真)



端午の節句を全身で楽しむ

アリス認定こども園「端午の節句会」



真上)。五月人形の前で堂々とした立ち姿を見せると、下級生から「かっこいい!」と声が上がりました。

続いて、園児はペープ

サート「遊ぼう!こいのぼりくん」を鑑賞。一緒に童謡「こいのぼり」を歌った後、演じる先生の声をじっくり聞いて物語を楽しんでいました。

最後に、園庭で3クラス対抗戦のゲーム「こいのぼりリレー」を開催。カラーポリ袋で作られた大きなこいのぼりをバトンとして2人1組で受け渡ししていきました。はりきった児童は、コースを風のように疾走。勢い余って転んだりしながらも、こいのぼりをなびかせて、この日一番の笑顔を見せていました。

(編集部 木山)



自然公園財団が発行する支笏洞爺国立公園のガイドブック「パークナビ支笏湖」がさきごろ完成し、支笏湖ビジターセンター等で販売を開始しました。同書は2008年に発行された「パークナビ支笏湖」から12年ぶりと

同書は自然公園財団支笏湖支部(支笏湖ビジターセンター)の職員が中心となり執筆。「パークナビ」から引き続き支笏湖地域の自然や歴史を詳細に解説するほか、新たに特産の「支笏湖チップ(ヒメマス)」や昨年オープンした「山線湖畔驛」を紹介。12年間の地域の発展を反映しています。

また、ビジターセンターに多く問合せがある「サイクリング」「登山」「イクリングロード3コース」の地図や、支笏湖の外輪山5座の登山ガイドを掲載しています。登山ガイドは、地形図付きでコースを解説する実用的な構成。市販のガイド情報

同書は支笏湖ビジターセンター(6月20日まで閉館中)のほか、支笏湖畔の複数の店舗・宿泊施設、千歳観光物産センター「ミル」等で販売しています。A5判80頁、定価550円。販売場所等の問合せは、自然公園財団支笏湖支部 ☎25・2453まで。

(編集部 木山)

12年ぶりに改訂「パークナビ 支笏湖」 観光やアウトドアにも便利



が少ない「イチヤンコッペ山」登山にも役立つ内容です。

同財団の職員佐々木香澄さんは「観光やアウトドアの他、歴史学習にも役立ちます。様々な場面で利用してほしい」と話しています。

コロナ禍により6月20日(日)まで臨時休館しているサケのふるさと千歳水族館は、営業再開までの毎日10時から16時まで、無料の生配信番組「見てみる? サケふるなまLive Act II!!」を同館のYouTube公式チャンネルで配信しています。パソコンやスマートフォン等の端末で視聴が可能。「千歳水族館 YouTube」と検索してアクセスしてください。

生配信は、臨時休館が始まった5月18日にスタート。館内各水槽の「いま」を紹介するほか、エサやり配信やスタッフによる和やかな雰囲気の様子物解説が人気を集めています。

スタッフ自ら「まずは楽しんでやってみよう」



▲6月1日配信 エサやりの様子

休館中のサケふる、見てみる?

サケのふるさと千歳水族館 館内の「いま」を生配信中



「仮装用にカチューシヤを買いました」と笑う日原俊学芸員は、「営業再開後も生配信を続け、展示の解説に活用したい」と意欲的。菊池基弘館長は「当館の生き物を楽しみにしている人たちに癒やしを届けたい」と話し、「休館中、スタッフはただ休んでいるわけではなく、新しい企画や情報発信を携え、さらに楽しい水族館を提供していきます」と営業再開に向けて意気込んでいます。

なお、これまでの配信は動画として保存されており、公式チャンネルからいつでも視聴できます。

(編集部 木山)

DIY+デザインで素敵なインテリアフレームを作ろう。

★普段の生活でフィッシングやアウトドアのギア(道具)は「非日常的」な存在ですが、それらの中でもデザイン的に優れたギアを工夫して飾ることにより、アート性のあるインテリア装飾にすることが出来ます。リビングの白壁にナチュラルなフレームがある事で、緊張感やストレスを和らげる効果も発揮します。ですから可能な限り、センスとこだわりのある素敵なオリジナル作品を作りましょう。



▲こんなギア飾りフレームも出来ます。



▲装飾しても重量は1.5kgほどなのでフック2個でも大丈夫です。

▲インクジェット用紙を貼る場合はコルククッションより、5~10mm厚の堅めの発泡スチロール板が適切です。

【用意する材料】ダイソーMDF材(30×60×0.6cm)1枚、連結型コルククッション*1(30×30cm)2枚、角材(91×1.5×1.5cm)、L型アングル(100×2×2cm)2本、ルアー各種、取り付け金具、他 *1:ダイソー、ニトリにて販売

【製作のポイント】

- ①この作品のテーマは「渓流釣り」なのでコルククッションに渓流魚のイメージイラストをプリント*2します。
*2:今回はレーザー加工機で直接コルククッションに刻印しましたが、インクジェットプリンターでのラベル印刷でも可能です。
- ②コルククッションは、ルアーをピンで固定する事ができ、ピンの跡が見えづらい事と素材自体軽量なのが利点です。2枚を木工ボンドで連結接着し、周りの連結しないジョイント部分はカッターナイフで切り落とします。
- ③ベースのMDFに角材でフレームを作ります。フレームの高さが1.5cmになりますが、その枠内にカットしたコルククッションを隙間ができないようにはめ込みます。L型アングルは飾りフレームなので、仕上げに四隅を45度の「留め切り(とめぎり)」できれいに合わせるのがポイントです。 *角材は木工ボンドで、アングルは頭の丸いブラウン木ネジで固定。



▲写真は木工用の「仮止め釘」と石膏ボード用フック

■DIYコラム/川筋善夫 好きなこと:生活に役立つDIY研究、聖書研究、アウトドア(キャンプ、フィッシング)

【注意とお願い】DIY研究室では、一部改造など著しくメーカーの製品の機能を損なう行為は行っていませんのでご理解ください。カスタマイズはあくまでアマチュアの領域内での造作です。

※このコラムに関心のある方は右記コードで

